

入眠困難に対する薬剤選択についての推奨（ただし、専門医の判断を優先する）

第一選択薬	第二選択薬
ルネスタ錠 1 mg (エスゾピクロン) 〈選択基準〉 ・せん妄スクリーニングシートのリスク因子が3項目<u>未満</u>且つせん妄がないと判断された患者 〈使用を回避すべき症例〉 ・重症筋無力症の患者 ・抗コリン作用に対して問題となる患者〔尿閉、高度の前立腺肥大症、閉塞隅角緑内障等〕 〈推奨投与方法〉 ・1 mg/日から開始し、効果不十分な場合は2 mg/日まで追加投与可能（BZ系催眠鎮静薬をすでに服用されている患者は開始量を適宜調節する） ・できる限り、午前0時以前に服用する ・漫然な投与を避ける	ベルソムラ錠 15mg/20mg (スボレキサント) 〈選択基準〉 ・第一選択薬が使用できない患者 〈使用時の注意点〉 ・以下の薬剤との併用は避ける CYP3Aを強く阻害する薬剤〔イトラコナゾール、クラリスロマイシン、ポリコナゾール等〕 〈推奨投与方法〉 ・20mg/日（高齢者は15mg/日）とする ・午後9時の服用を基本とし、定日内服とする
トラゾドン錠 25mg (トラゾドン) 〈選択基準〉 ・せん妄スクリーニングシートのリスク因子が3項目<u>以上</u>又はせん妄があると判断された患者 (留意点：使用の際は「うつ病」または「うつ状態」の病名登録が必要) 〈使用を回避すべき症例〉 ・抗コリン作用に対して問題となる患者〔尿閉、高度の前立腺肥大症、閉塞隅角緑内障、起立性低血圧等〕 ・QT延長リスクがある患者 〈推奨投与方法〉 ・25mg/日から開始する（症状に応じて適宜増減する） ・できる限り、午前0時以前に服用する	

監修 小栗 卓也（脳神経内科），山田 明伸（メンタルクリニック）

第 1.1 版 2020 年 12 月 8 日 作成